

ナングスクコンペ2013設計競技 審査講評

総 評

このたび開催しました「ナングスクコンペ2013設計競技」は、一昨年
の浦添大公園南エントランス管理事務所のコンペに続き、応募者の年齢を40才未
満の若手建築士に限定し実施したものであります。応募総数15件の応募が有り
ましたが、優れた作品が非常に多く、審査選考委員一同が激論を交わし慎重に
審査しました。また、二次審査は公開ヒアリングを実施したことにより、応募
者以外の建築士や一般の方にも審議の過程を見て頂くことが出来て大変良かっ
たのではないかと感じております。

今回のテーマは県営名護城公園なかゆくい広場のさくら展望台をビジターセ
ンターに改修するというものです。総合案内・展示・学習・集会・飲食サービ
ス・物販などの様々な機能が求められている中で、若手らしい斬新なアイデア
や様々な提案がなされたことは、今回の設計競技の目的と意義が十二分に発揮
されたものであります。

応募作品全15作品中、1次審査に漏れた7作品の中にも大変意欲的で優れた
作品があったことをこの場を借りて報告いたします。また、受賞しました5作
品については、設計条件を十分に理解した上で合理的に具現化された、優れた
提案がなされた作品ですが、中でも最優秀賞は実施作品となる事から与条件内
での実現性は元より、意匠性、技術的提案等を含めた総合的観点から高く評価
されます。

今回の設計競技が参加者の大きな自信となり、また、若手の建築士にとって
大きな励みとなるよう祈念いたします。

小倉 暢之 (琉球大学工学部教授・審査委員長)

